

iPadのカメラとAirドロップ機能の復元について

74期生のみなさんへ

近年、世の中の形が急激に変化してグローバル化社会と呼ばれる形態へと変化しました。グローバル社会は、人、物、知識が世界中を大きく行き交う社会です。このおかげで、私たちは世界から容易に素早く情報を得ることができたり、安価に良い物を手にしたり、口にすることができたり、あるいは私たちが海外に行ってみ聞きすることが容易になり逆に、海外の人が私たちの国日本にやってきて日本の文化を体験してもらって実際に日本という国を知ってもらうことができる社会になりました。

このように、グローバル社会は多くのメリットがありますが、一方で今回の新型コロナウイルスはこの様な社会において、留意しなければならない点もあるのだということを痛切に感じる機会となってしまいました。グローバル社会は、みなさんがいま目にしているように世界規模で急激に物事が変化する社会です。このような社会でよりよく生きていくために、私たちは自分のことや自分たちの国のことだけでなく、世界に目を向けて幅広い視野を持っていく力が必要であると思います。このため、本校ではIBの枠組みを取り入れ、現代社会を生き抜く力を身につけられるようにしていきたいと考えて教育を行うことにしました。

さて、大きな視点での話をしましたが、もう少し身近なことに目を向けたいと思います。現代社会を生きていく中で、なくてはならない存在となってきたのがスマートフォンやタブレットといった、通信を前提としたコンピューターであるICT機器です。ICT機器は便利に様々な情報を得たり発信して世界中とつながっていくことを可能とする半面、使い方を誤ると、他者を傷つけたり、時には回り回って自分を傷つけることにもつながることも起こります。先生たちは、みなさんに正しくICT機器を使いこなす力をみなさんに身につけてもらうために一人一台iPadを手にして学習に取り組んでもらおうと考えてきました。この中で、昨年度みなさんは様々な工夫をして機器を活用してくれました。しかし、一部の人ですが、残念な使い方をを行った人がいたために、機能の一部を制限することにしました。

年度が明けて、本年度は元の状態に復元した上でみなさんに再度「正しい使い方」について考えてもらいながら使ってもらおうと考えていました。しかし、休校措置が長引いていることを鑑みて、自宅で使用しやすいようにするために、先生たちが伝えたかったことをメッセージに添えて、機能の復元を行うことにしました。以下は学年の先生を代表して、昨年度学年主任の塩田先生からのメッセージです。74期生のみなさんには新しい気持ちで、是非再出発してほしいと思います。

新2年生のみなさんへ

iPadの件やSNSアプリの件など、この一年間みなさんと一緒に使い方について考えてきま

した。みなさんの ICT 機器の上達はめまぐるしく、想像以上に使いこなし、学習や学校生活において有効に活用してくれました。しかし、今回機能制限を解除するにあたって iPad 等の ICT 機器は人を傷つけたり、犯罪にも使えてしまう一面があることを再度確認したいと思います。ちょっとしたからかいのつもりで SNS に書き込んだり、写真を撮ったり、いたずらに使ったりすることで嫌な思いで苦しむ友達や周りの仲間のことを考えてください。そういったことを考える事ができるみなさんだったらきっと iPad を最大限に活用できると信じています。この話も直接みなさんの表情を見ながら話したかったことですが、思い通りにいかないものです。この文面でさえ、私の表情や思いがどこまでみなさんに伝わるのかわかりません。これから同じように iPad を持つことになる新1年生の先輩として、もう一度情報モラルを意識しながら使ってみましょう。カメラや Airdrop 等の有効に使えばとても便利な機能ですが、制限して窮屈だったと思います。この期間で、先生も含めた 74 期の生徒全員で iPad の使用についてもう一度考えてほしいと思っていました。ちゃんと情報モラルを理解して使っていた生徒もいたのにごめんなさい。みなさんの ICT 機器のさらなる上達を信じて機能制限を解除します。

大阪教育大学附属池田中学校
74 期生学年主任 塩田 和也
情報担当 藤井 宏明